

安政の地震時計の現代版「E - サイン」: 静電誘導に基づく前兆検証器

E-sign, a revised detector of earthquake precursor of dropped nails from a magnet in the Ansei era

池谷 元伺 [1]

Motoji Ikeya[1]

[1] なし

[1] none

<http://e-sign.tv/>

前兆現象の信憑性と電磁波原因説: 民話伝承や市民の報告にある地震前兆は、先行時間や観測点の時間・空間(震央距離)分布の統計処理から、稀な自然現象であると考えられる。遠方での観測や長時間前の報告は、思い込み、心理的な錯誤の確率が増え、信憑性は低い。神戸やイズミット地震の震央100km以内の報告は自然現象とみてよい(1)。

断層の動きを止めているアスペリティの微小破壊に伴う電荷(電磁波)の発生により起こるとの仮説の下に、現象を再現する数々の実験を行い(2,3)科学解説付きで子供と前兆を学ぶ絵本も出版した(4)

磁石から落ちたクギは静電誘導: 佐久間象山「地震時計」の現代版E - サイン(実験):

安政江戸地震の2時間前に天然磁石から落ちたクギを磁気異常とし、佐久間象山は「地震時計」を提案し、水素爆発が地震原因説の石田昭氏(ANS)らも地震予知を試みるが、これまで磁石の磁気が消えた報告はない。静電誘導でクギに電荷が誘起され、揺れて落ちたとするのが妥当だろう[7]。東南海地震の前に鎖が揺れたのも、SEMS電場が原因だろう。静電誘導説に基づく「E - サイン」(<http://e-sign.tv/>)は、前兆を捕らえるだろうか。

(1) M. Ikeya: Earthquakes and Animals: From Folk Legends to Science (World Scientific, 2004).

(2) 池谷元伺: 「地震の前、なぜ動物は騒ぐのか: 電磁気地震学の誕生」(日本放送出版協会、1998; 2005)。

(3) 池谷元伺: 緊急改定「大地震の前兆」(青春出版者、2005)。

(4) いけやもとじ、おか なみ「動物の地震予報: みんなどうしたの?」(星雲社、2005)。

(4) M. Ikeya and H. Matsumoto: Reproduced earthquake precursor legends using a Van de Graaff electrostatic generator: Candle flame and dropped nails. Naturwissenschaften 84 (1997) 539-541.